

第三者評価結果シート・コピー（乳児院）

種別	乳児院
----	-----

①第三者評価機関名

(一財)大阪保育運動センター

②評価調査者研修修了番号

S25045
SK15199
SK15201

③施設名等

名称:	伊丹乳児院
施設長氏名:	北村 公子
定員:	40【暫定29】名
所在地(都道府県):	兵庫県
所在地(市町村以下):	〒664-0007 伊丹市北野3丁目48-2
T E L:	072-781-1744
U R L:	
【施設の概要】	
開設年月日	1951/1/10
経営法人・設置主体(法人名等):	社会福祉法人 有岡協会
職員数 常勤職員:	30 名
職員数 非常勤職員:	4 名
専門職員の名称(ア)	保育士
上記専門職員の人数:	20 名
専門職員の名称(イ)	調理師
上記専門職員の人数:	3 名
専門職員の名称(ウ)	看護師
上記専門職員の人数:	4 名
専門職員の名称(エ)	栄養士
上記専門職員の人数:	1 名
専門職員の名称(オ)	家庭支援専門相談員
上記専門職員の人数:	1 名
専門職員の名称(カ)	
上記専門職員の人数:	名
施設設備の概要(ア)居室数:	乳児:1室 幼児:1室(仕切りで2つに分割)
施設設備の概要(イ)設備等:	
施設設備の概要(ウ):	
施設設備の概要(エ):	

④理念・基本方針

理念:子どもたちの心に寄り添い、気持ちを受けとめ、穏やかに健全な生活を提供する。基本方針:「児童福祉法」「乳児院倫理綱領」に基づき、子どもを主体とした養育を行う。:子どもたちのより良い未来のために、保護者を支援し、関係機関と連絡をとる。:施設がもつ専門的な知識や技術を活かし、地域貢献、地域交流の促進に努める。:職員はチームワークを大切に、専門性を高め、各々に求められた職責を果たすよう努力する。

⑤施設の特徴的な取組

ショートステイ事業、子育てサロン、里親研修受け入れ。毎月の誕生会・お弁当の日、季節的行事(お花見、子どもの日・遠足、社会見学、七夕、夏祭り、お月見、運動会、七五三、クリスマス会、初詣、節分、ひな祭り)、随時にお宮参り・お食い初めなど行事に工夫をしている。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間(ア)契約日(開始日)	
評価実施期間(イ)評価結果確定日	2018/3/17
受審回数	1回
前回の受審時期	平成 26 年度

⑦総評

伊丹乳児院は、1951年に開設して以来68年間もの長きにわたり運営してきました。16年前には少し離れた場所に新しく建設し、同法人の保育所と共に同じ敷地内で運営しています。静かな住宅街にあり近隣には、子ども達が徒歩で行くことのできる公園も数カ所あります。前回の第三者評価の結果を真摯に受け止め、理念の見直しを基本に子どもの養育支援について職員みんなで議論し、見直し、実践してきました(担当制の導入、個別化、夜勤体制の拡充、子ども用トイレの設置、研修の重視など)。職員の定着率の高さも改善を後押ししています。今後は、見直した内容を定期的に確認・見直しできるような組織的な体制作りと幼児期の子ども達の発達と生活内容(遊び)に関し検討し、同じ法人の保育所とも連携した取り組みの工夫を期待します。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

前回の第三者評価では、私たちの施設が抱える多くの問題点が明らかになりました。法人役員や行政、他施設、他機関の方々からも助言や協力をいただきながら、早急に改善に取り組まなければならないものの、日々の業務に追われ思い通りに手が付けられず、時間ばかりが過ぎる状況の中、まず理念を見直し、その理念の下、職員一人一人が何をすべきかを考えることから手分けをして進めていきました。今回の評価ではこれまでの取り組みが一定の結果を生んだ喜びと、ようやくスタート地点に立てたという安堵を感じています。まだまだ不十分で、問題点も数多く残されているとの自覚もあります。気持ちを引き締め、これからも職員全員でより良い乳児院を目指して行きたいと思っております。

⑥第三者評価結果（別紙）

（別紙）

第三者評価結果（乳児院）
 共通評価基準（45項目）Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織
 1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	b	第三者 評価 結果
① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 □理念、基本方針が文書(事業計画等の法人・施設内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等)に記載されている。 □理念は、法人・施設が実施する養育・支援の内容や特性を踏まえた法人・施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。 □基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。 □理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。 □理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、子どもや保護者等への周知が図られている。 □理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	b	
【コメント】 理念、基本方針は「ひよこだより」とホームページに掲載し、室内に掲示しています。職員に対しては会議や掲示等において周知を図っています。日常的には口頭で伝えています。保護者には「ひよこだより」により周知しています。理念、基本方針については「ひよこだより」などを通してより具体的にわかりやすく伝えることを期待します。		

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	b	第三者 評価 結果
① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 □社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。 □地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。 □子どもの数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、法人・施設が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。 □定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	b	
【コメント】 厚労省からの資料により乳児院の政策動向を把握し、全国乳児院協議会主催の年2回の研修会に出席し社会的養護の動向や乳児院の課題について理解し、当院の経営方向を考える手がかりとしています。伊丹市の人口ビジョン・子ども・子育て支援事業計画・伊丹市障害児計画などにより児童福祉ニーズの動向や対策を把握し当院の事業計画に反映するよう努力しています。次年度の予算編成のため費用の執行状況を把握しています。今後、コスト・利用率の分析を行い入所児童のニーズに合った経営を目指すことを期待します。		
② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。 □経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。 □経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。 □経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。 □経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	b	
【コメント】 法人内の施設長の中で施設運営統括担当者を置き、各施設での問題・課題を把握し、担当者を中心に解決の基本方向を作成しています。具体的には、トイレの改修や施設設備の課題について職員の意見を聞きながら実施しています。理事会では、経営状況や改善課題について理事・監事等で共有しています。		

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	b	第三者 評価 結果
① 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。 □中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。 □中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。 □中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。 □中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	b	

【コメント】

2017年8月に策定された「新しい社会的養育について」を踏まえて家庭復帰、里親委託について短期的な目標を設定し、目標実現のために家庭支援専門相談員が里親や実親とのマッチングを行っています。その実際については家庭支援専門相談員の記録で確認しました。中期のビジョンを明示した計画については法人理事会の議事録で確認しました。今後は、ビジョン実現のために中・長期計画の策定と実施のための体制づくりを期待します。

②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。	
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	○

【コメント】

単年度の事業計画では①建替え（平成12年）、②家庭復帰6件など数値目標を設定して実施しています。毎年の事業計画は、5年前にさかのぼって理事会の議事録で確認しました。法人である有岡協会としては長期の計画はありませんが、伊丹乳児院としては、乳児院の理念と乳児院の社会的ニーズに応える中・長期計画の策定に取り組み始めています。今後は、策定した中・長期計画にもとづく単年度計画を作成することを期待します。

(2) 事業計画が適切に策定されている。

①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。	○

【コメント】

単年度の事業計画として、養育の課題や行事計画は職員会議を通じて職員の意見が反映できるよう努力しています。事業計画の評価は、毎月「できた」「できない」で行っています。年度末に正規職員による職員会議を開き、事業計画の振り返りと来年度体制や事業内容について検討し職員に説明をしています。事業計画の実施については、実施の状況と結果について実施報告書の提出を義務付け、評価を記載しています。

②	7 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によつて、子どもや保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	

【コメント】

事業計画の内容については「ひよこだより」により伝えていきます。保護者への周知については、相談室への掲示や運動会などの行事への参加を促す中で周知を図っています。保護者への周知については「ひよこだより」が主な手段となっており今後、複数の手段による周知徹底を要望します。内容については、分かりやすく解説するための工夫が必要です。

4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者評価結果
--------------------------------	---------

①	8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
	<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく養育・支援の質の向上に関する取組を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に見直している。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	

【コメント】

個別計画は、乳幼児担当者が作成し主任・部長がチェックする仕組みを作っています。養育実践は、最終的な評価は部長が行っています。毎年の養育実践では、年度末に職員によるまとめと来年度の課題を明らかにする会議を行っています。

②	9 評価結果にもとづく施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	

【コメント】

第三者評価の自己評価チェック表を用いて毎年評価を実施し結果を文章にまとめています。自己評価や第三者評価の公表内容を職員に回覧し課題の共有を図っています。法人として改善委員会を設置し質の向上に努め、改善の取り組みでは緊急度の高いものから実施しています。中・長期計画に改善すべき点を位置付け計画化し実施することを期待します。

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。	第三者評価結果
① 10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。 <input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。 <input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。 <input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。 <input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	a

【コメント】

施設長は、職務分掌規程に「伊丹乳児院に求められる機能・役割について」を作成し目指すべき施設長像を明示しています。施設長の役割や責任については具体的には職務分掌表を作成し、そこに記載しています。院内研修や職員会議で経営・管理および運営方針について説明し、方針の徹底を図っています。施設長は、毎年、法人の広報や「ひよこだより」に運営理念や方針を表明しています。施設の経営・管理については施設長の自己評価とあわせて職員と共同による評価と改善の仕組みを作っています。

② 11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。 <input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。 <input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	b
---	---

【コメント】

施設長として研修や勉強会に積極的に参加し法令等の理解を深めています。職員の休憩時間や残業について労働基準局からの指導があり改善しました。この経験を生かし職員会議等で労働法令等について理解を徹底し、遵守するための体制を整えました。施設長として社会福祉法や児童福祉法だけではなく個人情報保護法や労働基準法など関連する法令についてさらに理解を深めることを期待します。

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。	第三者評価結果
① 12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。 <input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。 <input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。 <input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。 <input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。 <input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	b

【コメント】

施設長は、養育支援の状況について、部長・主任・リーダーを通じて職員の意見や状況を収集し改善事項を把握し、改善策を提起しています。外部研修に可能な限り参加するようにすすめるとともに参加条件を整える努力をしています。乳児院の養育支援や運営について全国乳児院協議会からの資料だけでなく、他の乳児院の取り組みの情報を取得し乳児院の養育などについて学習をさらに深めることを期待します。職員集団の連帯を強化するとともに施設長としてのリーダーシップを今まで以上に発揮することを期待します。

② 13 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。 <input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。 <input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	b
---	---

【コメント】

職員確保については、ハローワークへの求人、保育士バンクへの登録、就職フェアへの参加により確保の努力をしています。理事として、法人の理念方針にそった人員配置や労働環境の改善に取り組んでいます。具体的には、トイレの改善や保育室の整備に取り組んできました。施設長として、経営分析が可能となる体制の整備や職員の配置を期待します。法人として伊丹乳児院のなかに経営改善や業務の向上を図るための体制を整備することを期待します。

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	第三者評価結果
① 14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b

<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	
<input type="checkbox"/> 養育・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	
<input type="checkbox"/> 法人・施設として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	
<input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	

【コメント】

退職者の補充が困難な中で新規採用のために保育士バンク、就職フェア、実習生への働きかけなど可能な限り努力を続けています。養成校へも人材確保について依頼しています。法人として福祉人材確保の計画と多様な方法を駆使してさらなる人材の確保を期待します。

② 15 総合的な人事管理が行われている。	b
<input type="checkbox"/> 法人・施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	
<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。	

【コメント】

「期待される職員像等」については「伊丹乳児院に求められる機能・役割及び資質・能力について」に記載しています。職員の評価については、職員が定めた目標に基づき年2回の面談を行い評価し、人事管理に生かしています。個人面談を通じて職員の処遇改善に役立てています。人事に関する基準を作成し職員に周知することと職務に応じた処遇の体系を設けることを期待します。

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

① 16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b
<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	
<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような施設内の工夫をしている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	
<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	
<input type="checkbox"/> 人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

施設長は職員の状況を把握し労務管理の責任を負っており、職員の有給休暇や時間外労働のデータを管理し定期的に確認しています。職員の健康については年1回の健康診断の受診を義務づけています。希望した休みについては確実に取得できるようにしています。職員の悩みについては窓口を設け、年2回以上部長面談を行っています。働きやすい職場の雰囲気作りや長く働き続けやすい人間関係作りを配慮した結果、平均勤続年数が11年となっています。今後、労働環境とライフワークバランスに配慮した環境づくりと職員の悩み相談に応じる専門職の配置を期待します。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

① 17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。	
<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

年2回の個人面談で施設の目標や方針を周知しています。職員一人ひとりが目標を設定し、達成度については年2回の自己評価と部長面談により進捗状況の確認と改善を図っています。職員の個別目標の設定にあたってはコミュニケーションを重視しながら、目標項目、水準、期限などにおいて統一した項目による目標管理となることを期待します。

② 18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
<input type="checkbox"/> 施設が目指す養育・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 現在実施している養育・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	
<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	

【コメント】

「期待される職員像」を養育支援で生かしていくようにしています。事業計画の中で研修計画を記載し、養育・支援の質の向上につなげる努力をしています。職種別の役割を明確にして研修計画を立案し実施しています。研修を受講した職員に研修内容について感想文の提出を義務付け、感想文の分析により研修の改善につなげています。今後、体系的な研修カリキュラムの作成・実施と院内研修やケース検討を期待します。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	<input type="radio"/>

【コメント】

給食、健康など職種別研修に取り組んでいます。初任者、中堅など経験年数に応じた研修を保障しています。研修には、OJTを取り入れています。兵庫乳児福祉協議会の各種部会に参加し研修を受けています。研修参加者は、報告書と職員会議等で研修内容を報告し、研修報告書はいつでも閲覧できるようにしています。研修の案内は事務所の横の掲示板に掲示し職員に周知しています。

(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援に関わる専門職の教育・育成に関する基本姿勢を明文化している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援の専門職の教育・育成についてのマニュアルが整備されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

実習生指導マニュアルを作成し、その中に実習生の基本姿勢を記載しています。実習指導の改善のため実習生に対してアンケートを実施しています。実習期間中は学校側と連携を密にしています。今後は、実習指導者の研修を期待します。また、乳児院の専門性に配慮した実習プログラムの策定を要望します。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人・施設の理念や基本方針、養育・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 法人・施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して説明し、法人・施設の存在意義や役割を明確にするように努めている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	<input type="radio"/>

【コメント】

予算、決算、第三者評価の受審結果については、全社協・経営協のホームページに掲載し公開していますが、本院のホームページにも掲載できるように準備中です。苦情処理委員会を設置し、苦情処理の経過と結果については「ひよこだより」に記載しています。法人の理念や基本方針は掲示板に掲示し地域社会に公開しています。

②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	<input type="radio"/>

【コメント】

経理規程を作成しルールを明確にしています。経理規程は、職員に周知し、施設の経理、取引については、社会福祉法人の運営サポートを専門とする会社による経営コンサルティングを受けることで外部監査による経営改善が実施できる仕組みをとっています。法人内部監査は実施しています。内部監査と外部監査による経営改善と一層の透明性の確保と、経理や取引等についても職務分掌と権限・責任について職員に周知を図ることを期待します。

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。

第三者
評価
結果

①	23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
	□地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	<input type="radio"/>
	□子どもび個別状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	<input type="radio"/>
	□施設や子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。	<input type="radio"/>
	□子どもび買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	<input type="radio"/>

【コメント】

地域とのかかわりについて事業計画の「基本方針」と「年間行事計画」に記載しています。地域の盆踊りに参加し、日々、地域の人とのあいさつを欠かさないようになっています。散髪や買い物は、地域のお店を利用し地域とのかかわりがもてるように努力しています。散歩や遊びなど公園を活用して地域の人と触れ合う機会を大切にしています。日常的な子育ての情報発信や多様なイベント企画により地域と一層「つながり」ができるように工夫することを期待します。

②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
	□ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	<input type="radio"/>
	□地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。	<input type="radio"/>
	□ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	<input type="radio"/>
	□ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	<input type="radio"/>
	□学校教育への協力をしている。	<input type="radio"/>

【コメント】

ボランティアの受け入れや学校との連携について基本的な考え方・姿勢についてマニュアルの整備に取り組んでいます。学校との連携では高校生ボランティアを受け入れています。今後、協力を希望するボランティアに対して研修の実施を期待します。

(2) 関係機関との連携が確保されている。

①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
	□当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	<input type="radio"/>
	□職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	<input type="radio"/>
	□関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	<input type="radio"/>
	□地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	<input type="radio"/>
	□地域に適当な関係機関・団体がいない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	<input type="radio"/>

【コメント】

担当者を中心に関係機関との連携を図り、要保護児童対策協議会に参加し地域の子ども状況について把握し、関係機関と連携しながら問題解決に向けた取り組みをしています。地域における社会資源（関係機関、団体、施設など）のリストを作成し活用しています。今後、地域における子どもの養育のネットワーク化に取り組むことを期待します。要保護児童対策協議会以外に、伊丹乳児院として乳児院を支えるネットワークに取り組むための工夫を期待します。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26 施設が有する機能を地域に還元している。	b
	□施設のスペースを活用して地域住民との交流を意図した取組を行っている。	<input type="radio"/>
	□施設の専門性や特性を活かし、地域住民の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。	<input type="radio"/>
	□施設の専門性や特性を活かした相談支援事業、支援を必要とする地域住民のためのサークル活動等、地域ニーズに応じ住民が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。	<input type="radio"/>
	□災害時の地域における役割等について確認がなされている。	<input type="radio"/>
	□多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。	<input type="radio"/>

【コメント】

乳児院のスペースを活用して子育てサロンや行事を企画して地域に参加を呼びかけています。子育てサロンは、乳児院が培ってきた低年齢児の子育てのノウハウを地域に開放する役割を果たしています。今後、子育てサロンへの参加者が増えるような工夫や災害時における伊丹乳児院としての役割を鮮明にすることを期待します。

②	27 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
	□施設の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。	<input type="radio"/>
	□民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	<input type="radio"/>
	□地域住民に対する相談事業を実施することなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。	<input type="radio"/>
	□関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	<input type="radio"/>
	□把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	<input type="radio"/>
	□把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	<input type="radio"/>

【コメント】

ショートステイの相談や受け入れをおこなっています。伊丹市と連携をとり、地域の福祉ニーズを把握するようにしています。福祉ニーズのなかで乳児院でできることを模索していますが、今後、民生委員や主任児童委員と定期的に交流して地域の福祉ニーズを具体的に把握し乳児院でできることを検討・工夫していくことを期待します。

Ⅲ 適切な養育・支援の実施

1 子ども本位の養育・支援

		第三者評価結果
(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		
①	28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、子どもを尊重した養育・支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援実施に関する基本姿勢が、個々の養育・支援の標準的な実施方法等に反映されている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	

【コメント】

「乳児院養育指針」を全職員に配布、学習し、各部屋に「乳児院倫理綱領」「子ども権利ノート」を掲示しています。「子どもたちの心に寄り添い、気持ちを受けとめ」ようと前回の第三者評価から理念も検討、変更し子どもを尊重する姿勢を明示しています。実際に子ども達と一緒に絵本を読み聞かせる際ビデオ番組に見入っていた子どもに「テレビ消してもいいかな？」と同意と納得を促す場面を観察しました。子どもを尊重する姿勢についてさらに検討するための定期的・組織的な場（会議など）の設定を期待します。

②	29 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した養育・支援の実施が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、子どものプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 保護者等にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいた養育・支援が実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。	○

【コメント】

子どものプライバシー保護や虐待防止について規程・マニュアルを整備し、院内研修をしています。2歳以上の入所児の利用も考慮し、新たに子ども用トイレを設置しました。オムツ交換場所や入浴設備については子どものプライバシー保護の観点と職員が腰痛などにならないよう健康面の観点も含めて職員間で意見を出し合い改善することを期待します。

(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

①	30 保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	b
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、養育・支援の内容や施設の特長等を紹介した資料を準備している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	
	<input type="checkbox"/> 施設に入所予定の保護者等については、個別に丁寧な説明を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	

【コメント】

「入所のご案内」や「子育て家庭ショートステイ事業のご利用にあたって」を作成し理念や基本方針を明示しています。ホームページも開設し、園の概要・一日の流れ・年間行事など資料提供をしています。その資料については、入所予定児童の保護者（入所後の生活に不安を抱えている場合もある）を対象にしている点において、子どもの毎日の生活、毎月ある行事の内容や食事（可愛いお弁当の日もある）などについて具体的に「わかりやすい」解説の検討を期待します。見学希望者へは、施設長を中心に管理職が対応しています。

②	31 養育・支援の開始・過程において保護者等にわかりやすく説明している。	b
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程における養育・支援の内容に関する説明と同意にあたっては、保護者等の自己決定を尊重している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程においては、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。	
	<input type="checkbox"/> 説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程においては、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	○
	<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な保護者等への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	

【コメント】

入所は、子ども家庭センターを通じたケースが多く、その点でケースワーカーとの連携で養育・支援の開始、過程の説明を行っています。開始にあたっての同意内容は、書面で残しています。保護者の自己決定の尊重という点で、子どもの前髪をカットする時も「同意」を求めていることをヒアリングで確認しました。緊急を要する入所や、意思決定が困難な保護者の場合、養育・支援の説明は入所後になることを前提とした対応のルール化や「わかりやすい」説明資料の工夫を期待します。

③	32 措置変更や地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	b
	□養育・支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	○
	□他の施設や地域・家庭への移行にあたり、養育・支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	
	□施設を退所した後も、施設として保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	○
	□施設を退所した時に、保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	○

【コメント】

養育・支援の処置変更の際に著しい変更や不利益が生じないように、担当者、関係機関、家庭支援専門相談員と連携しながら個別に面会・外出・外泊等の配慮をしています。退所時には、個別アルバムをはじめ「在院時の状況」を作成し、子ども家庭センターと共に情報を共有しています。退所後のフォローについては、関係機関とも連携して保護者からの連絡待ちだけではなく、一定の期間、定期的なフォローを見通したルール化の検討も期待します。

(3) 子どもの満足の向上に努めている。

第三者
評価
結果

①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
	□子どもとの日々の関わりの中で、子どもの満足を把握するように努めている。	○
	□職員等が、保護者等とのコミュニケーションを可能な範囲で図り、定期的に保護者等の満足を把握している。	○
	□把握した子どもの満足を集約する担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために検討会議の設置等が行われている。	
	□分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	

【コメント】

家庭支援専門相談員を中心に保護者とのコミュニケーションを図る努力をしています。概ね子ども二人に対し一人の担当者制を執り子どもの満足向上に努めています。子ども達は担当保育士への愛着を土台に要求を発信しています。個人記録を毎日記録し（毎月二つの成育目標を担当保育士が設定している）子どもの状況把握をしています。記録した子どもの状況や情報の共有化、とりわけ子どもへの適切な対応という点で「担当者任せ」にならない組織的かつ定期的な検討を期待します。

(4) 保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
	□苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	○
	□苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。	○
	□苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	
	□苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。	○
	□苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。	○
	□苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。	
	□苦情相談内容にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	

【コメント】

苦情解決の仕組みを確立し、「入所のご案内」に明示すると同時に面会室にも掲示しています。苦情相談に対しては迅速に対応するよう努力していますが、個別対応に終わらせず、職員会議などで苦情内容とその対応について討議・検討をし、その過程を通して養育・支援の質的な向上につなげていくことを期待します。

②	35 保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b
	□保護者等が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	○
	□保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	○
	□相談しやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	○

【コメント】

面会室はプライバシーに配慮した設えだけではなく壁面飾りや天井からも手作りの装飾が吊るされ温かみのある室内となっています。運動会や訪問調査時において保護者が職員と比較的親しく相談、話をしている場面を目にしました。当評価機関が行った保護者アンケート（回収率27%）には「相談にのってくれる」「スタッフの人が話しやすい」「私の相談もいつでも電話や手紙でのってくれると言ってくれた時も嬉しかった」などの記述があり、施設として保護者が相談や意見を述べやすい環境に配慮していることが窺えます。

③	36 保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
	□相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	○
	□対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	
	□職員は「日々の養育・支援の実施において、保護者等が相談しやすい意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	○
	□意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者等の意見を積極的に把握する取組を行っている。	○
	□職員は「把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを旨として迅速な対応を行っている。	○

養育・支援の標準的な方法をマニュアル化し、職員に配布、周知しています。標準的な実施方法が養育・支援に適切であるかどうかも含めて組織的な確認ができる仕組みの構築を期待します。

②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	c
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。	
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	

【コメント】

標準的な実施方法の見直しは前回の第三者評価の結果を受けて施設として行ってきましたが、定期的、組織的な見直し方法を検討することを期待します。

(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。

①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	b
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、子ども一人ひとりの具体的なニーズが明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員(種別によっては組織以外の関係者も)の合議、保護者等の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに養育・支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	○
	<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な養育・支援が行われている。	

【コメント】

自立支援計画は子どもの身体状況や生活状況をアセスメント(入所措置書・児童記録票・児童受入調査表・子ども家庭センター援助指針票等)し養育担当者が責任者となり、家庭支援専門相談員、看護師、栄養士、管理職も関わりながら策定しています。支援困難ケースについては、速やかに関係職員と対応し、検討策定していますが、保護者等の意向把握と同意を含んだ手順については、これまでの経験を踏まえて文章化しマニュアル化することを期待します。

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者等の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、養育・支援を十分に実施できていない内容(ニーズ等)、養育・支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	

【コメント】

自立支援計画は子ども家庭センターへの提出が義務づけられている4月1日を基準日として見直し策定しています。見直しが必要となった際は、家庭支援専門相談員、養育担当者が中心となり関係職員と共に随時ケース会議を行い見直ししています。今後は緊急性のみではなく子どもの成長、発達にともなう定期的な見直しの仕組みを期待します。

(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b
	<input type="checkbox"/> 子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく養育・支援が実施されていることを記録により確認することができる。	○
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	
	<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの閲覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	

【コメント】

入所児医療処遇記録表、月別個人目標（二つ）を設定した個人記録表によって養育・支援の状況を記録しています。クラスノートで、連絡・引継ぎを行っています。夜勤時22時過ぎ職員夕食と子ども達の情報交換を観察しました。24時間体制で運営する施設における子どもの状況、情報の交流・共有化のために職員間で工夫情報共有を目的としたパソコンのネットワークシステムの利用や会議の設定を期待します。

②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

個人情報保護規定を作成しマニュアル化しています。職員は入職時個人情報保護規定を含む誓約書を提出し、院内研修において周知しています。保護者に対し入所時、同意書の中に個人情報の取り扱いについて記載し周知しています。

内容評価基準（22項目）A-1 子ども本位の養育・支援

		第三者評価結果
(1)	子どもの尊重と最善の利益の考慮	
①	A1 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。	b
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容が子どもにとって最善の利益になっているか、振り返り検証する機会が設けられている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員が、子どもの最善の利益の実現を目指し、子どもによりそい、その思いを代弁する役割と使命を共通理解し、その実現に努めている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの最善の利益を実現させるために、日々の養育・支援に関する姿勢や子どもへの接し方等について、振り返り改善する取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設全体の養育・支援の質の向上を図るために、研修や自己研鑽によって職員が専門性を高めている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 養育実践や養育の内容に関する職員の共通理解や意見交換を図る機会を設け、協働性を高めるよう取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

理念に「子どもたちの心に寄り添い、気持ちを受け止め、穏やかで健全な生活を」と掲げています。子どもにとっての最善の利益を追求するために、職員間でのふり返りや検証を実施し、養育・支援につなげています。また、院独自の自己チェック表を用い、年に3回ふり返りを行うことで専門性や資質向上に努めています。

(2)	被措置児童等虐待対応	
①	A2 いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。	a
	<input type="checkbox"/> 「就業規則」等の規程に具体的な例を示して体罰等の禁止を明記している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 体罰等があった場合を想定して、施設長が職員にその原因や体罰等の方法・程度等、事実確認をすることや、「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行う仕組みがつけられている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 体罰等の起こりやすい状況や場面について、研修や話し合いを行い、体罰等を伴わない的確な援助技術を習得できるようにしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 体罰等の禁止を職員に徹底するため、日常的に会議等で体罰等を取り上げ、行われていないことを確認している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

体罰や人格を損なうような行為は、「禁止行為」として就業規則に明文化しています。日常的にも体罰等に関する研修や話し合いを積み重ね、体罰等の禁止を徹底できるように努めています。

②	A3 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止について、具体的な例（ヒヤリハット等）を示し、職員に徹底している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりに迅速に対応できるように、乳幼児からの訴えやサインを見逃さないよう留意している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりがあった場合を想定して、施設長が職員にその原因や方法・程度等、事実確認をすることや、「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行うようリスクマネジメントがなされている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの起こりやすい状況や場面について、研修や話し合いを行い、これによらない援助技術を習得できるようにしている。	<input type="checkbox"/>

<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止を徹底するため、日常的に会議等で取り上げ、行われていないことを確認している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止の視点から、職員体制(配置や担当の見直し等)を検討している。	<input type="radio"/>

【コメント】

不適切な関わり方の防止に向けて、院内研修のみならず外部の研修にも参加し、職員の意識向上に努めています。また、夜間の職員体制が不十分になる時間帯の職員配置を見直したことも、防止と早期発見の点で大きな意味を持ちます。子どもに対する不適切なかかわり方について、気づいたことを互いに注意しあうことは大切ですが、事例をもとに組織的に検証していくことを要望します。

③ A4 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	b
<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の届出・通告制度について、対応マニュアルが整備されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待が疑われる事案が生じたとき、施設内で検証し、第三者の意見を聞くなどの迅速かつ誠実な対応をするための体制整備ができています。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の届出・通告があった場合に、届出者・通告者が不利益を受けることのない仕組みが整備されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の届出・通告制度について、研修会などで職員に周知をしている。	<input type="radio"/>

【コメント】

「兵庫県被措置児童等虐待対応のガイドライン」及び、「事務処理要領」を基にマニュアルを整備し、研修を行っています。また、虐待が発覚した時は院内の検証だけでなく、統括施設長や監事、顧問弁護士も交え、厳正に対応する仕組み(懲罰委員会)をつくり、一層の強化をはかっています。

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本	第三者評価結果
① A5 子どものこころによりそいながら、子どもとの愛着関係を育てている。	b
<input type="checkbox"/> 乳幼児に対する受容的・応答性の高いかかわりを心がけている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 子どもと養育者の信頼関係が築かれ、子どもが不安になった時など、いつでも応じられるように養育者が側にいるよう配慮されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> どの乳幼児も保護者等、あるいは担当養育者、里親等、特定のおとなと個別のかかわりを持つことができる体制が整備されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 特別な配慮が必要な場合を除いては、基本的に入所から退所まで一貫した「担当養育制」をとっている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 担当養育者と個別のかかわりを持つことができる時間を確保している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 語りかけや「だっこ」「おんぶ」などの身体ふれあいを通して心の安定を図り、心地よい状態を共有できるよう努めている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 被虐待経験のある乳幼児等特別な配慮が必要な乳幼児に対しては、個々の状態に応じた関係づくりを行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

前回の受審を踏まえ理念を見直し、個別の自立支援計画に基づきながら日々の養育・支援を実施しています。子どもとの愛着関係を育むために2年前より担当制を導入しています。一方、異年齢で構成したグループのため、年齢や発達に応じた養育・支援については十分生かされていない状況があります。担当制のあり方と共に検討を期待します。また一日の生活の組み立てにおいて、子ども一人ひとりの発達に応じたプログラムをもとに、一日の生活の内容(年齢にふさわしい遊びなど含めて)の見直しを期待します。

② A6 子どもの生活体験に配慮し、豊かな生活を保障している。	b
<input type="checkbox"/> 日々の生活リズムは発達や子どもの気持ちに沿いながら一人ひとりにあった形で進められている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 施設に子どもが安心して暮らせる温かな家庭的雰囲気がある。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 居室が安心して、くつろいだり、落ち着ける場所になっている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 安定した環境の中、おもいおもいに遊ぶことができる安全で使いやすい遊具などがあり、自由に遊びに耽り続けるよう配慮されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 他児と区別された「自分のもの」といえる玩具、食器、衣類、戸棚などの個別化が図られている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 満足感の得られる養育者との遊びの時間を提供している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 自然と触れ合える外遊びが養育者との十分なやりとりを交え提供されている。	<input type="radio"/>

【コメント】

部屋をダンスで仕切り二部屋に分けたことで、子どもたちが落ち着いて生活できる空間となり、家庭的な雰囲気づくりへの工夫をしています。子どもたちの持ち物には個別化を図るように努め、個人所有物への十分な配慮があります。今後は子どもたちが自ら主体的に生活できるように玩具・絵本の配置やコーナーづくり、間仕切りのあり方などの環境整備を期待します。また、戸外遊びが職員の体制で左右される傾向があるので、体制の整備や園庭の活用を通して子どもたちに豊かな生活経験を保障することを期待します。

③	A7 子どもの発達を支援する環境を整えている。	b
	<input type="checkbox"/> 養育者は、月齢による発達特性(自我の表出等)を認識し、養育に当たっている。	
	<input type="checkbox"/> 入所までの生活環境や身体的成長の差等から生じる子ども一人ひとりの違いを十分に把握し、尊重している。	○
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもの欲求や要求に対し、抱いたり声をかけるなど、タイミング良く気持ちを受け止め対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの個々の発達や状態に応じた適切な言葉を用い、穏やかに言葉かけをしている。	○
	<input type="checkbox"/> 言葉を獲得し話し始めた子どもの問いかけには、できる限りその場で応答している。	○
	<input type="checkbox"/> 「いや」など駄々をこねたり、自分を表現する力がまだ十分でない子どもの気持ちをくみ取ろうとしている。	○

【コメント】

入所以前の個別の生活環境や発達を把握し、それに基づいて自立支援計画を作成し発達支援を行っています。また、職員一人ひとりが発達支援に対する目標を立て、ふり返り（自己評価）をするシステムを構築し、スキルの向上に努めています。一方、日々の生活の中で子どもが表す姿や行動を発達的に捉えて支援していくために、それぞれの専門職の専門性を発揮できる職員同士の話し合いや研修を継続的に行い、一人ひとりの子どもの発達保障に繋ぐための具体的な支援方法を明らかにできるよう、さらなる検討を期待します。

(2) 食生活

①	A8 乳幼児に対して適切な授乳を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 授乳は、自律授乳を基本としつつ、個々のリズムや体調に合わせて量や時間を工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 授乳時は、乳幼児を抱いて、目を合わせ、やさしく言葉をかけ、ゆったりとした気持ちで飲めるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 授乳後は、吐乳・溢乳等を防ぐために排気を十分に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 一人飲みをさせていない。	○
	<input type="checkbox"/> 生体リズムの乱れなどで自律授乳や自発的意思の授乳が難しい乳幼児には、その子の状態に応じた授乳を工夫している。	○

【コメント】

子どもの要求に応じながら、穏やかに授乳するよう心掛けています。また個々の状況やニーズに合わせ、一人ひとりの子どもに合わせた自立哺乳を目指した取り組みに努めています。

②	A9 離乳食を進めるに際して十分な配慮を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 在胎期間も含め、入所に至るまでの経過や発育、発達状況を踏まえ、一人ひとりに合わせた食の取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 個々の状態に合わせて離乳を開始し、様々な食べ物や味に慣れさせている。	○
	<input type="checkbox"/> 食事をいやがったり遊びだしてしまう場合にも、時間をかけてゆったりとした気持ちで与えている。	○
	<input type="checkbox"/> 噛む力を養うために、食品の種類や調理方法を工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 栄養士や調理員等は養育者とともに、咀嚼や嚥下の状況を確認し発育状況や体調を考慮しながら離乳食を進めている。	○

【コメント】

離乳食についてのマニュアルを作成し、それに基づき、栄養士や調理師、養育担当者が連携しながら実施しています。栄養士・調理師は積極的に現場に足を運び、実際に子どもが食べているところをみて情報収集や状況把握に努めています。「食事連絡票」を通して、一人ひとりの成長・発達を確認しながら形状や硬さを変えるなど、個別にきめ細やかな対応をしています。

③	A10 食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している。	b
	<input type="checkbox"/> 食事場所は清潔に保たれ、明るく楽しい雰囲気ですべての食事ができるように工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが食べやすいように、身体に合わせてテーブルと椅子の高さを適切に調整している。	○
	<input type="checkbox"/> 乳幼児が自分で食べようとする意欲を育てられるように、手に持って食べやすいものを用意したり、食器やスプーンなどに触れられるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 食前の手洗い、食前食後のあいさつ、食後の歯磨きなどが定着するよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育者や他児と一緒に食事を楽しんでいる。	
	<input type="checkbox"/> 食事の食べ方や量にばらつきがあっても全部食べることにこだわらず、おいしく楽しく食べられるように、子どもと目線を合わせ、様子をみながら言葉をかけるなど雰囲気づくりに気を配っている。	○
	<input type="checkbox"/> 日々の食生活を通じて食べたいものや好きなものが増える工夫がされている。	○
	<input type="checkbox"/> お腹がすぐリズムが持てるよう、朝食・昼食・夕食の間隔は適正になっている。	○
	<input type="checkbox"/> 栄養士、調理員等が、食事の様子をみたり、介助するなか、一人ひとりの発育状況や体調を考慮した調理を工夫している。	○

【コメント】

食事は子どもたちがテーブルを囲み、お互いに顔を見合わせて食べることができるように配置や空間づくりの配慮をしています。足元には個々身体の育ちに合わせた台を置き、テーブルの高さに対して調整ができるように工夫しています。また食事の盛り付けや行事食、遠足時の弁当づくり等、子どもたちが喜ぶために手間を惜しまない姿勢が窺えます。さらに養育者との共感関係も広がり、家庭的な雰囲気づくりにつながるために一緒に食事を執ることなどの工夫も期待します。

④	A11 栄養管理に十分な注意を払っている。	b
	<input type="checkbox"/> 十分なカロリーと栄養のバランスよい献立が、栄養士により準備されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 栄養だけではなく季節感を取り入れた食事が提供されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の体調、疾病、アレルギー等に個別に対応した食事を提供している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の嗜好や栄養摂取量の把握に努め、献立に反映している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> ささまざまな「食育」への取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 発達に応じて、食事の準備や食事作りを見たり、かかわる機会を持ち、食べることに興味関心を持つことができるよう工夫している。	<input type="radio"/>

【コメント】

アレルギーについてはマニュアルを整備し調理の段階から意識することと合わせて、アレルギー児の個別トレーや机を準備し日常的に誤食が起こらないようにしています。院内で野菜を栽培し、子どもたちが水やりや収穫に関わる取り組みは、食べる喜びにつながり、「食」への興味関心を広げる機会になっています。栄養士を中心に栄養面の管理を行っていますが、子どもの状況把握や食育について調理師も含めて共有し、すすめていくことを期待します。

(3) 衣生活

①	A12 気候や場面、発達に応じた清潔な衣類を用意し、適切な衣類管理を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 衣類は吸湿性・通気性に富み、清潔を保ち、肌に刺激の少ない材質を使用している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の体型を考慮し、活動を阻害せず、着脱が容易なものを使用している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 気候調節へ配慮し、寒暖の状態に適した枚数と厚さにしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 寝ている生活が主なときは前開きのものを、動きが活発になったら活動的で腹部や背中が出ないものを選ぶなど、生活美態に適し、個々の発達に応じた衣類管理を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 衣類は個別化し、個人別に収納している。	<input type="radio"/>

【コメント】

衣類の素材や気候への配慮、清潔保持を図っています。行事や外出などの場面に応じた衣類も準備しています。また個別化をし、衣類カゴには一人ひとりの区切りがあり、子ども自身が自己決定・自己選択できる工夫と個を尊重した関わりが窺えます。

(4) 睡眠

①	A13 乳幼児が快適に十分な睡眠をとれるよう取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 室内の環境として、温・湿度、換気、明るさ、静かさ、音楽などを快適に保っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 寝具の環境として、肌に触れる素材は綿素材を用い、広さ、形状、硬さなどを快適に保っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 睡眠時の状況を観察している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 快適に十分な睡眠をとれるよう、個々の乳幼児の発達・心理に配慮した職員の対応など具体的な独自の取組を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

空間を二つに分けて、子どもが落ち着いた雰囲気の中で就寝できる環境づくりに努めています。夜勤の体制を二人から三人に整備し、子どもの授乳や夜泣きにゆとりを持って対応することにつながっています。同時に、他児にとっても十分に快適な睡眠につながっています。

(5) 入浴・沐浴

①	A14 快適な入浴・沐浴ができるようにしている。	b
	<input type="checkbox"/> 入浴・沐浴を毎日している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 浴室・沐浴槽などの設備やタオル・バスタオルなどの備品は常に清潔が保たれている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の年齢、発達、発育等、個々の状況に応じた入浴方法がとられている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 安心して、心地よく、楽しい入浴・沐浴になるような言葉掛けなどの配慮がなされている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 入浴・沐浴に際し、おもちゃ等を用意し、心地よい体験になるよう工夫している。	<input type="radio"/>

【コメント】

年齢に応じた言葉かけやおもちゃの準備をして快適な入浴・沐浴への配慮をしています。一方、夕方の忙しい時間帯ということもあり、時間に追われているように窺えました。入浴の仕方については年齢や発育に合わせたグループ分けなどの工夫を期待します。また養育者の身体的負担を軽減し健康に動くためにも浴槽の高さや浴室内環境を整備することを期待します。

(6) 排泄

①	A15 乳幼児が排泄への意識を持てるように工夫している。	b
---	------------------------------	---

- おむつ交換のときに、言葉をかけながら身体をマッサージなどして、おむつ交換が心地よいものであることを伝えるように心がけている。
- 発達段階に応じて、排泄への興味が持てるように配慮している。
- 発達段階に応じて、おむつが濡れていないときは、便座に誘導するなどして自分から便座に座る意欲を持てるように配慮している。
- 発達段階に応じて、個々の幼児のリズムや気持ちに合わせて誘導を行っている。

○
○
○
○

【コメント】

前回の受審で改善点に挙げられていたトイレについては、施設整備により新たに子ども用のトイレを設置しました。子どもたちにとってもメリハリのある空間となり、排泄への興味・習慣化につながっています。実際、年齢の高い子どもたちはトイレを促されると自ら向かう姿がありました。子どもたちの入所年齢の幅は様々です。今後に向けては、性別による排泄の違いや年齢ごとの排泄について、院で作成している「発達チェック表」を基に、発達段階に応じた排泄援助を期待します。

(7) 遊び

- ①
- A16 発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。
- 玩具の色・形や音色などを選ぶように工夫している。
 - 戸外に出かけ、外界への興味を広げられるように配慮している。
 - 模倣遊びや職員や他の乳幼児とのふれあい遊びを通して、情緒の育成を図り、人との豊かなかかわりができるように配慮している。
 - 養育者や他の子どもと楽しく遊ぶことができるよう心がけている。
 - 子どもの五感を育てる遊びが提供できるよう工夫している。
 - 月齢により、収納場所を設け、玩具の個別化をし、自分の物という喜びや認識ができるよう工夫している。
 - 子どもの手の届く所に玩具の収納場所を設け、年齢によっては自由に出し入れして遊べるようにしている。

b
○
○
○
○
○
○
○

【コメント】

部屋には発達に応じた様々な玩具を収納しています。子どもたちが自ら出し入れし、自己決定できる収納場所や、部屋の中のアソビコーナーづくりなどの環境の工夫を期待します。異年齢グループでクラスを分けていることで、グループ内のおそびの要求が異なることもあります。年齢ごとの横の関係づくりや発達要求に応じた活動の内容について検討・工夫を期待します。

(8) 健康

- ①
- A17 一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。
- 健康観察記録を作成し、日々の健康状態の変化が一目で把握できるように工夫している。
 - 日常的に医療機関等と適切に連携するよう努めている。
 - 嘱託医による定期健康診断では、身体発育の状態や精神・運動発達・情緒的問題等について総合的な診察を行っている。
 - 乳幼児の条件や集団の構成に応じて、適宜予防接種を行っている。
 - 異常がある場合には、医療機関を受診するなど適切に対応している。
 - ミルクや離乳食を開始した当初は、発疹などアレルギー症状の出現に注意し、異常所見が見られた場合には速やかに医師に相談し対応策を講じている。

b
○
○
○
○
○
○

【コメント】

健康管理に関わる書類を整備し、個々の健康記録と、日々の記録をとっています。その記録により子どもの健康状況が一目で把握でき、職員間の引き継ぎの資料になっています。また、グループごとに担当の看護師を配置し、養育者と密に連携をとりながら医療的ケアを行っています。夜間の救急対応として、看護師の連絡ツールを策定していますが、勤務外での対応になっています。夜間の健康管理と迅速な対応ができる体制づくりの構築を期待します。

- ②
- A18 病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。
- 病・虚弱児等個々の健康状態の変化が、常に把握できるように工夫している。
 - 服薬管理表等により、適切な服薬管理を行っている。
 - 専門医や主治医の協力のもと、乳幼児の健康状態に応じた療育計画や発達支援計画などを含む支援のプログラム等を作成して、乳幼児の適切な発達を支援している。
 - 専門医や主治医による定期的な診断を受けている。
 - 異常所見が見られた場合には、速やかに専門医や主治医に相談できる連絡体制をとっている。

a
○
○
○
○
○

【コメント】

かかりつけ医へ定期的に受診し、一人ひとりの健康管理を行っています。「業務日誌」や「受診記録表」などの書類を整備し、支援プログラムについては個々のカルテに挟み、職員間で情報の共有化や引き継ぎをしています。服薬については、服薬時に看護師を含む2人で確認をし、二重チェックによる誤薬防止・服薬管理に努めています。

(9) 心理的ケア

①	A19 乳幼児と保護者等に必要な心理的支援を行っている。	c
	<input type="checkbox"/> 心理的な支援を必要とする乳幼児について、保護者等への支援も視野に入れた自立支援計画や養育計画に基づき、心理支援内容が明示されている。	
	<input type="checkbox"/> 心理支援内容には、個別・具体的方法が明示されており、その方法により心理的支援が実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 心理職をおき、乳幼児にも保護者等にも心理的な援助を行える体制が整っている。	
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部の専門家から直接的支援を受ける体制が整っている。	○
	<input type="checkbox"/> 心理的なケアが必要な乳幼児や保護者等への対応に関する職員研修やコンサルテーションが行われている。	

【コメント】

現在、心理職の配置はなく、外部の健診や発達検査の機会に助言を受け支援につなげています。心理職の配置を検討していますが、法人として中・長期の人的計画を明確にし、心理的な支援を要する子どもや保護者に、継続的・計画的なケアができる体制を構築することを期待します。

(10) 施設と家族との信頼関係づくり

①	A20 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	b
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員が中心となって施設と家族との信頼関係を構築するように努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設が家族と共に子どもの成長を喜び合う雰囲気大切にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 面会時に必要に応じて保護者等の養育スキルの向上を支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 保護者等の相談に積極的に応じるための保護者等面接の設定等、専門的なカウンセリング機能の充実に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員は、家族に寄り添い、保護者等の言葉を傾聴する役割を担っている。	○
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の協働養育者として、日常生活の様子を写真やお手紙に書いて家族に伝えている。	○

【コメント】

家庭支援専門相談員が中心になり、施設と家庭の関係づくりを行っています。保護者からの相談には積極的に応じ、時には家庭に足を運び養育場面を共有しながら問題解決の糸口を探ることもあります。そのことで養育力や生活力の改善につながったケースも個別ヒアリングで確認しました。また、お食い初めや七五三、運動会などの節目の行事に参加を促し、保護者と共に子どもの成長を喜びあえる機会づくりに努めています。毎月発行している「ひよこだより」は長年継続し、個別に写真を添付しコメントを記載しています。

(11) 親子関係の再構築支援

①	A21 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 家庭支援に関する具体的なプログラムや配慮事項が明記されている。	
	<input type="checkbox"/> 入所理由の理解とケアの方向性についてアセスメントしている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもと家族との関係調整については、定例的かつ必要に応じて児童相談所等と協議を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、施設宿泊、一時帰宅などを計画的に設定し、乳幼児と保護者等との関係性が好転し、保護者等の養育意欲が向上するよう支えている。	
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅後の乳幼児の様子を注意深く観察し、家族からの不適切なかかわりがあった場合には、その発見ができるように努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 課題の内容によっては適切な機関につなげられるよう、地域の精神、心理相談のできる機関を十分に把握し、連携をとっている。	
	<input type="checkbox"/> 児童相談所を中心とした他機関との協働により、虐待の未然防止と家族機能の再生に向けてのサービス資源の提供などのソーシャルワークを行っている。	

【コメント】

児童相談所等の関係機関とは家庭支援専門相談員が仲介的な役割を担い、連携を図りながら適切な親子関係の構築に向けて支援しています。外泊や外出については、児童相談所と情報提供や情報共有を行いながら実施し、関係性の好転に努めています。一方で、相談員一人の抱えるケースも多く、心理面での支援も必要な場合もあります。心理職も含めた人的配置の改善と合わせて、養育者と共に組織的に支援できるよう、家庭支援プログラムの作成においてケース会議のあり方を検討していくことを期待します。

(12) スーパービジョン体制

①	A22 スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性の向上や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	c
	<input type="checkbox"/> スーパーバイザーを配置し、いつでも相談できる体制を確立している。	
	<input type="checkbox"/> 職員に対するスーパービジョンを定期的に行い、職員がひとりで問題を抱え込まないように、スーパーバイザーなどを通じて、組織としての働きかけをしている。	
	<input type="checkbox"/> スーパーバイザー以外にも職員相互が評価し、助言し合うことを通じて、職員一人ひとりが支援技術を向上させ、施設全体の支援の質を向上させるような取組をしている。	
	<input type="checkbox"/> スーパーバイザーは、職員からの信頼が得られるよう、研修に参加するなど質の向上に努めている。	

□国が定める基幹的職員を設置している。



【コメント】

研修を受けた基幹的職員を配置していますが、組織的に機能するまでには至っていません。個々の職員の抱える悩みについては、現在部長が助言・相談できる関係は築いています。今後は基幹的職員の役割を明確にし、その力が発揮できるよう資質向上を目指し、組織的な体制を確立していくことを要望します。